

キャラクター名  
月篠 真那斗 (つきしの まなと)

プレイヤー名

シンドローム	バロール ノイマン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
オプション		年齢	9	性別	男
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	35 %
出自	待ち望まれた子	経験	実験体	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	0	1	0			1	行動値	11
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	11
精神	5	0	0		4	9	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
蜘蛛糸と隼の剣 REC:玉野椿	
コネ:玉野椿 REC:玉野椿	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
実験体	P	N		
雨情鎖	P 信頼	N 猜疑心		
玉野椿	P 憧憬	N 劣等感		
高崎隼人	P 友情	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
迎撃する魔眼	2	7	オート	視界	単体	対決	リミット	
効果: リアクション放棄し黒の鉄槌 C値-Lv 下限7								
黒の鉄槌	5	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻撃+(Lv×2+2) 同エンゲージ不可								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 判定ダイス+Lv ラウンド1回								
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100	
効果: 戦闘不能時にメインを行う シナリオ1回								
時間凍結	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	80	
効果: イニシアチブにメインを行う HP-20 シナリオ1回								
コンセントレイト:バロール	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv 下限7								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

実験によって人工的に魔眼を組み込むために生まれた子。右眼が人工的に作られた魔眼となっており、その影響で左右の眼の色が違う。遺伝子上の親はいるが育ての親はおらず、幼少期は最低限の世話を除き、専ら研究員の実験材料となっていた。物心ついたころに玉野椿に引き取られ、多忙な彼女は忙しい中間を縫ってオーヴァードとしての生き方、考え方、そして戦い方を教えてくれた。実験体だった真那斗を軽々しく外へ出すわけにもいかず小学校へ通わせることができない為、玉野椿が家庭教師代わりとなって一般常識を教育していった。真那斗はそんな椿に多大な恩を感じており、親愛を込めて姉さんと呼んでいる。現在の目標は、いつか偉くなって椿に恩返しをすること。実験によって生まれた、作られた天才である自分ならば可能な筈だ、と自らの重い出自をポジティブに捉え、日々鍛錬に励んでいる。現在は雨情鎖が担当する通称「カレー支部」に所属しており、彼女との仲も悪くない。一緒に食堂で食べるカレーは真那斗の密かな楽しみとなっている。

出自の割には明るい性格をしている。椿の教育の賜物だろうか。しかし影響も多大に受けており、口うるさいところなどが似通ってしまい、周囲のチルドレン達からは教官が増えたみたいだ、と言われる事もある。年齢にそぐわない落ち着きや物静かさも椿を真似しての事。真那斗にとっての理想の大人像は既に椿で固定されてしまっている為、あらゆる面で彼女を目指してしまっている。戦闘スタイルが致命的にそぐわないのだけが一生物の禍根。半面、自分が作られた存在だといった意味でも悪い意味でも理解しており、前述のようにその能力を活かす方に考える事もあるが、逆に自分の命の価値が低いと思いついて入っている面も見られる。椿がいたためマシにはなったが、今でも心の奥底では『自分より他人の方が大事だ』という思考が根付いている。